2013/11/11 8:00

東京都各局における大島への支援策

局名	内容
総務局	○10月18日21時00分「東京都災害即応対策本部」を設置 ○10月30日17時00分「東京都災害即応対策本部」を廃止、「情報連絡態勢」に移行 ○職員派遣（総合防災部1名） ・10月21日から27日まで、総合防災部兼務職員第1陣20名派遣 ・10月23日から28日まで、各局職員20名派遣 ・10月27日から総合防災部兼務職員第2陣20名派遣（第1陣と交代） ・10月28日から11月1日まで、各局職員16名派遣（第1陣と交代） ・10月29日から11月1日まで、各局職員4名派遣（第1陣と交代） ・11月2日から8日まで総合防災部兼務職員第3陣20名派遣（第2陣と交代） ・11月9日から13日まで、派遣人員10名（都職員10名） ○都職員による義援金を募集 ○一般社団法人東京建設業協会との協定に基づいて重機を提供 10月19日6時30分　岡田港へ重機が到着（第八天照丸） ・ブルドーザー　3台 ・ユンボ　2台 ・油圧クラップル　3台 （重機提供元：清水建設株式会社） 10月20日18時40分　元町港へ重機が到着（海上自衛隊） ・油圧クラップル　1台 （重機提供元：清水建設株式会社） 10月23日5時30分　元町港へ重機が到着（東海汽船） ・10トンダンプ　2台 （重機提供元：清水建設株式会社） 10月29日5時30分　元町港へ重機が到着（東海汽船） ・2トントラック　3台 ・ユンボ　2台 （重機提供元：五洋建設株式会社） 10月31日5時30分　元町港へ重機が到着（東海汽船） ・ユンボ　1台 （重機提供元：東急建設株式会社） 11月7日5時30分　元町港へ重機が到着（東海汽船） ・ユンボ　1台 ・油圧グラップル　1台 ・2トンダンプ　2台 （重機提供元：大成建設株式会社） ○島外避難者の受け入れ 10月23日から29日まで国立オリンピック記念青少年総合センター及び島嶼会館で受入れ（終了） ・受入実績（10月24日18時現在） 国立オリンピック記念青少年総合センター 避難者33名　付添者21名　計54名 島嶼会館　避難者 2名　付添者 8名　計 10名 ・24 時間体制で都職員が常駐、電話等で相談を受ける体制 ・国立オリンピック記念青少年総合センターでは、看護師が24時間体制で対応 ・島嶼会館では、看護師が乳幼児の健康確認を実施 ○建物被害認定調査の支援 罹災証明に必要となる建物被害認定調査を行う支援職員を派遣 11月5日から9日まで、派遣人員64名（都職員32名、区市町村職員32名） （大島町が11月21日（木）から、り災証明書の発行及び特別相談窓口の開設を予定）

総務局	○支援物資の提供 10月19日6時00分　岡田港へ物資が到着（東海汽船） ・土のう袋　2,000袋 （内閣府を通じて、国土交通省より提供） 10月20日16時38分、17時58分　大島空港へ物資が到着（航空自衛隊） ・土のう袋　25,300袋 （東京建設業協会　15,000袋、都建設局10,300袋） 10月21日6時00分　元町港へ物資が到着（東海汽船） 10月22日5時30分　岡田港へ物資が到着（東海汽船） 10月23日5時30分　元町港へ物資が到着（東海汽船） 10月24日5時30分　元町港へ物資が到着（東海汽船） 10月25日5時30分　元町港へ物資が到着（東海汽船） 10月25日13時30分　国立オリンピック記念・青少年総合センターへ物資を搬入 10月28日5時30分　元町港へ物資が到着（東海汽船） 10月29日5時30分　元町港へ物資が到着（東海汽船） 10月30日5時30分　元町港へ物資が到着（東海汽船） 10月31日5時30分　元町港へ物資が到着（東海汽船） 11月 1日5時30分　元町港へ物資が到着（東海汽船） 11月 2日5時30分　元町港へ物資が到着（東海汽船） 11月 6日6時00分　岡田港へ物資が到着（東海汽船） 11月 7日5時30分　元町港へ物資が到着（東海汽船） 11月 8日5時30分　元町港へ物資が到着（東海汽船） ・別紙「支援物資リスト」のとおり
財務局	○東京都トラック協会へ車両手配を依頼（物資の運搬のため） ・10月19日　搬送先：竹芝桟橋 内容物：マットレス（日本赤十字提供） 車両：10トン車1台 ・10月20日　搬送先：辰巳埠頭 内容物：マットレス（日本赤十字提供） 車両：2トンロング1台 ・10月21日　搬送先：辰巳埠頭 内容物：アルファ化米 車両：2トンロング2台、3トン車1台 ・10月22日　搬送先：辰巳埠頭 内容物：被服類、作業靴、安全靴、作業服 車両：2トン車3台 ・10月23日　搬送先：辰巳埠頭 内容物：作業服、安全靴等 車両：3トン車1台 ・10月26日　搬送先：辰巳埠頭 内容物：作業服、安全靴、スコップ等 車両：3トン車1台 ・11月7日　搬送先：辰巳埠頭 内容物：マスク 車両：2トン車1台 ○庁有車の手配 10月24日午後　避難者10名（うち乳幼児2名）を島嶼会館へ移送
主税局	・税の減免制度についてツイッター及びフェイスブックで周知 ・主税局公式ホームページに「災害に関する税務上の取扱いについて」を掲載 ・主税局公式ホームページに被災した大島町内の自動車に係る自動車税減額の申立について（今回は、り災証明書等不要）掲載

生活文化局	○ ボランティア活動の支援 ・10月17日から現地調査（ボランティアニーズや受け入れ態勢の確認） 3人 ・大島社会福祉協議会が大島災害ボランティアセンターを設置（18日） ・10月20日から大島災害ボランティアセンター業務支援 4人 ・10月21日から島内外のボランティア受入開始（島外からの受け入れは条件あり） ・10月21日～23日ボランティア受入れ業務支援等のため、職員（1人）を派遣 ・10月28日に東京都災害ボランティアセンターを東京ボランティア・市民活動センターと共同で設置 ・10月28日～11月1日災害ボランティアコーディネーター(9人)を派遣 ・10月28日～11月5日職員（1人）を派遣 ・11月1日～5日災害ボランティアコーディネーター(7人)を派遣 ・11月5日～9日災害ボランティアコーディネーター（7人）を派遣 ・11月9日から災害ボランティアコーディネーター（7人）を派遣 ○ 支援物資 ・10月23日到着　哺乳瓶640本（東京都生活協同組合連合会）
都市整備局	・平成25年台風第26号により島しょ部において住宅に被害を受けた方に対する災害復興住宅資金利子補助実施を決定
環境局	○LPガスの被害状況 ・10月16日　元町地区に所在するLPガス販売店には被害がないことを確認済 ・10月16日　土砂等で流出した家屋等からのLPガスボンベが発見された場合は回収するよう都LPガス協会を通じ販売店に依頼済 ・10月16日以降現在まで、家屋等からのLPガスボンベによる火災等の情報は入っていない。 ・10月21日　避難勧告が出された地域にLPガスボンベ貯蔵施設を有する2つの販売店に対し貯蔵しているガスボンベの安全対策について要請（うち、1つの販売店はボンベを移動、もう1つの販売店は要請を受け警戒態勢をとる。） ・10月22日　避難準備や避難勧告等の島内放送時に、避難時にはLPガスボンベの元栓を閉めることを住民に呼びかけるよう大島町に要請 ・10月24日　避難所が開設された場合に、「LPガスボンベの開栓方法及びLPガスの燃焼異常等があった場合は販売店に連絡すること」といった内容の注意書面を避難所に掲示等するよう大島町に依頼 ・10月24日　21日に販売店へのガスボンベの安全対策要請（上記参照）に対し、ガスボンベの移動を予定していた販売店においてガスボンベの移動が完了 ・11月6日現在 　被災現場より、流失・埋没したボンベが発見された場合は、自衛隊等から販売店に連絡され販売店により回収作業が行なわれている。 　環境改善部環境保安課から都LPガス協会に確認したところ、台風27号によるLPガス関係の事故・災害の発生はない。 　各販売店からの聞き取りによるとLPガスボンベの被害家屋件数は124件で、うち、105本のボンベが回収された。140本以上が未回収である。 ○都立大島公園内の被害状況 ・毎日、現地の公園施設の管理担当を通じて被害状況を確認 ・10月21日　本庁の職員2名を派遣し、公園施設の復旧状況を調査 ○災害廃棄物処理 ・10月18日　一般廃棄物処理施設について、設備の被害がないことを確認 ・10月29日　処理支援のため本庁の職員3名を派遣し、現場確認等実施 ・11月5日　大島町災害廃棄物対策連絡調整会議の開催 次回開催予定　11月14日（木曜日）

福祉保健局 病院経営本部	○東京DMAT 10月16日 13時00分　東京DMAT（都立広尾病院1チーム）派遣 10月17日 14時30分　東京DMAT（都立多摩総合医療センター1チーム）派遣 ※都立広尾病院チームと交代 10月18日 15時35分　東京DMAT（都立墨東病院1チーム）派遣 ※都立多摩総合医療センターチームと交代 10月19日　東京DMAT活動終了 ○患者搬送 10月16日　大島医療センターから都立広尾病院へ医療搬送（3便、計7名） 10月20日　大島医療センターから都立広尾病院へ医療搬送（2便、計14名） 10月23日　島外避難者を都立広尾病院へ医療搬送（1名） ○医療救護班 10月22日　医療救護班（都立広尾病院1班、都立墨東病院1班）派遣 10月28日　医療救護班（都立大塚病院1班）派遣（島外避難民帰島支援） 10月29日　医療救護班（都立駒込病院1班、都立多摩総合医療センター1班、都立墨東病院1班）派遣（島外避難民帰島支援）
福祉保健局	○医師の派遣 10月16日～19日 ご遺体検案のため監察医務院より医師1名を派遣 10月23日　医療救護班（東京都医師会（白鬚橋病院1班、南町田病院1班））派遣 ○支援物資 10月18日到着　簡易トイレ100個、ドライアイス100kg 10月19日到着　ドライアイス1,000kg 10月20日到着　ドライアイス2,000kg 10月21日到着　消毒用アルコール、次亜塩素酸消毒剤他生活用品 10月22日到着　アルファ化米37,000食、調製粉乳300本、ドライアイス4,000kg 10月23日到着　哺乳瓶600本、動物用ケージ20個 10月24日到着　ドライアイス200kg 10月25日到着　ドライアイス800kg、感染症対策防護具150人分 10月30日到着　ドライアイス600kg 11月3日到着　ドライアイス600kg ○避難所の衛生管理指導・保健指導の支援体制の確保（島しょ保健所大島出張所） ○保健師派遣 10月20日～28日　都保健師（2班4名）を派遣 ○介護職員派遣 10月20日～27日　都職員（4名）を派遣 ○水道施設の被害状況確認 ○伊豆大島等台風26号災害東京都義援金を募集（10月19日から） ○被災者生活再建支援法を適用 ○島外避難支援 10月23日 ・避難者の健康状態の確認（医師1名、看護師1名） ・移送中の付添（医師、介護職員等） ・国立オリンピック記念青少年総合センターに介護職員2名を派遣 10月24日 ・移送中の付添（医師、看護師等） ・島外避難者受入用に竹芝ターミナルに毛布50枚を輸送、車椅子5台を調達 ・国立オリンピック記念青少年総合センターに簡易トイレ30個を輸送 ・協定に基づき同行避難動物（犬1頭）を保護(東京都獣医師会)（～10月29日） 10月28日 ・島外避難者帰島支援のため介護職員2名を派遣 10月29日 ・島外避難者帰島支援のため介護職員4名を派遣 ○島外避難者の受入（終了） 社会福祉施設等で受け入れ（避難者29名、付添9名）

病院経営本部	○島外避難者宿泊施設へ看護師派遣(10月23日から10月29日午前9時まで) 避難者の健康管理、健康相談 ・10月23日(都立駒込病院2名) ・10月24日(都立多摩総合医療センター1名、都立大塚病院1名、都立神経病院1名、都立広尾病院1名、小児総合医療センター1名) ・10月25日(都立小児総合医療センター1名、都立松沢病院1名) ・10月26日(都立神経病院1名、都立大塚病院1名) ・10月27日(都立松沢病院1名、都立小児総合医療センター1名) ・10月28日(都立駒込病院1名、都立神経病院1名)
産業労働局	・林道の被害状況確認等のため職員(延べ9名)を派遣(10月17日から23日まで、28日から30日まで、11月1日から2日まで、5日から6日まで) ・平成25年台風26号により直接の被害を受けた大島町の中小企業者に対する「災害復旧資金融資」の実施(10月18日から) ・農地・農業用施設の被災状況調査等のため職員(延べ4名)を派遣(10月18日から19日まで、29日) ・漁業指導調査船による漁場等被害状況調査の実施(10月18日から31日まで) ・中小企業者の被害状況確認のため職員(3名)を派遣(10月29日)
建設局	10月21日16時00分　建設局災害即応対策本部を設置 ○河川 ・職員(延べ23人)を派遣〔11月11日現在〕(10月16日から派遣) 現地調査及び大島町、国土交通省等関係機関との連絡調整に従事 ・二次災害防止(緊急対策)の実施 10月19日　大型土のう設置開始 神達　計画延長約100m 元町三丁目 計画延長約440m 10月22日　大型土のう計約540m設置完了 10月22日　(大金沢)堆積工上部の流木撤去完了 10月23日　(大金沢)堆積工内の大型土のう設置完了(仮設の堰) ・堆積工の除石(大金沢、長沢、八重沢)〔10月22日から継続実施〕 ○道路 ・職員(延べ14人)を派遣〔11月8日現在〕(10月17日から派遣) レスキュー・ナビゲーションを活用した現地調査、連絡調整に従事 ・都道・町道復旧に関する技術的支援 ○支援物資の提供 10月20日　土のう袋　1万300袋を送付 10月20日　土のう袋　1万5,000袋を送付(東京建設業協会) 10月24日　サンドポンプ(8吋)8台・発動発電機4台を送付(東京建設業協会) 10月29日　測量用具　20セット等送付
港湾局	○職員(2名)を大島へ派遣。現地確認・復旧作業補助に従事(17、18日) ○重機運搬用船舶等の確保(18日:大島行) (船舶協力:日本内航海運組合総連合会、日鉄住金物流株式会社 荷役協力:東京港運協会、東海海運株式会社 資材輸送協力:東海汽船株式会社 その他業務協力:東京港埠頭株式会社、東京シップサービス株式会社) ○本庁(離島港湾部)と大島支庁(港湾課)との緊急連絡体制の継続 ○職員を大島へ派遣(各期間2名ずつ)現地確認・復旧作業補助に従事 (10月22～27日、27～30日、30～11月2日) ○島外避難者輸送用船舶の確保(23、24日:東京行) (船舶協力:東海汽船株式会社) ○島外避難者輸送対応(23日:東京ヘリポート) ○港湾、漁港等被災状況調査協力(17日～) (伊豆諸島、小笠原諸島災害対策支援協議会) ○島外避難者受入対応(島嶼会館:職員2名派遣) ○島外避難者輸送用船舶の確保(28、29日:大島行) (船舶協力:東海汽船株式会社)

交通局	○都営バスによる避難者の移送 ・10月23日　大島町からの避難者を、都営バスにより竹芝桟橋からオリンピックセンターに移送（都営バス5台により避難者とその付添者計32名を移送） ・10月24日　大島町からの避難者を、都営バスにより竹芝桟橋からオリンピックセンターに移送（都営バス3台により避難者とその付添者計23名を移送）
水道局	○10月17日、以下を派遣（送付） ・応急給水車（2トン車）２台 ・復旧支援先遣隊（特別緊急車）１台 ・職員（８人） ・給水袋（6リットル用）　６，０００枚 ・ペットボトル東京水（３５０ミリリットル）１０，０００本 ○10月18日、以下を実施 ・町役場にて応急給水及びペットボトル東京水の配布（12時から20時） ・岡田出張所にて応急給水及びペットボトル東京水の配布（12時から20時） ○10月19日、以下を実施 ・町役場にて応急給水及びペットボトル東京水の配布（8時30分から17時20分頃） ・大島支庁にて応急給水及びペットボトル東京水の配布（18時頃～20時） ・岡田出張所にて応急給水及びペットボトル東京水の配布（8時30分から20時） ○10月20日、以下を実施 ・大島支庁前で応急給水、ペットボトル東京水配布（8時30分～20時00分） ○10月21日、以下を実施 ・大島町役場前にて応急給水、ペットボトル東京水を配布（8時30分～19時00分） ○10月22日、以下を実施 ・大島町役場前にて応急給水、ペットボトル東京水を配布（8時30分～19時00分） ○10月23日、以下を実施 ・大島町役場前にて応急給水、ペットボトル東京水を配布（8時30分～19時00分） ○10月24日、以下を実施 ・大島町役場前にて応急給水、ペットボトル東京水を配布（8時00分～19時00分） ○10月25日、以下を実施 ・大島町役場前にて応急給水、ペットボトル東京水を配布（8時00分～12時00分） ○10月26日、避難勧告発令のため待機 ○10月27日、以下を実施 ・大島町役場前にて応急給水、ペットボトル東京水を配布（8時30分～17時15分） ○10月28日、以下を実施 ・大島町役場前にて応急給水、ペットボトル東京水を配布（8時30分～17時15分） ○10月29日、以下を実施 ・対応職員8人→5人に。 ・大島町役場前にて応急給水、ペットボトル東京水を配布（8時30分～17時15分） ○10月30日、以下を実施 ・大島町役場前にて給水待機 ○10月31日撤収
教育庁	○現時点で対応している内容 ・大島高校、大島海洋国際高校を避難所等として提供（終了） ・アドバイザリースタッフの派遣 ・教職員住宅の避難所としての提供

支援物資リスト（11月8日時点）

品名	調達数量
ペットボトル東京水（350ミリリットル）	10,000 本
アルファ化米	37,000 食分
レトルト食材	22,520 食
調製粉乳（粉ミルク）	300 本
哺乳瓶	1,240 本
大人用オムツ	122 パック
子供用オムツ	122 パック
おしりふき	816 個
尿とりぱっと	5,013 枚
生理用ナプキン	702 パック
ウエットティッシュ	200 個
ペーパータオル	2,496 本
ティッシュペーパー	5,040 箱
トイレットペーパー	5,088 ロール
タオル	2,000 枚
大人用歯ブラシ	1,152 本
子供用歯ブラシ	540 本
歯磨き粉（大人用）	600 個
歯磨き粉（子供用）	200 個
乾電池	1,000 本
ドライアイス	4 kg
使い捨て容器(皿)	29,160 枚
使い捨て容器（おわん型）	30,000 個
紙コップ	38,700 個
割り箸	28,800 膳
食器洗用手袋	1,440 枚
マスク	37,200 枚
消毒用ハンドジェル	100 本
ハンドタイプアルコール	200 本
ポンプタイプアルコール	50 本
次亜塩素酸消毒剤	50 本
ヘルメット	20 個
作業用合羽	357 着
作業用ゴーグル	361 個
作業服（上下）	330 着
作業靴	330 足
作業用ゴーグル	23 個
ヘッドライト	353 個
スコップ	182 本
革手袋	400 組
手袋（作業用、滑り止め付）	460 足
軍足（現場用ソックス）	100 足
編み上げ靴	100 足
長靴	130 足
ジャンパー	300 着

シャツ	360 着
ズボン	360 着
ウインドブレーカー	349 着
合羽	30 着
肌着	上13，600枚　下6，700枚
肌着（子供用）	上2，260枚　下1,144枚
靴下	133,348 足
靴下（子供用）	5,148 足
テレビ	20 台
エアコン	13 台
洗濯機	33 台
冷蔵庫	13 台
電気ポット	50 台
FAX付電話機	20 台
カーテン	26 組
寝具	30 ｾｯﾄ
皿	36 枚
どんぶり	36 個
スプーン	30 本
フォーク	30 本
グラス	60 個
箸	30 膳
発電機	34 台
投光器	16 台
インクジェットプリンター	2 台
インク	10 本
土のう	55,600 袋
チェーンソー	55 台
安全ブロック	10 個
サンドポンプ	15 基
ホース	32 本
キャプタイヤ	3 個
接続金具（ホース用）	44 個
点滅灯	210 個
誘導棒	50 個
生石灰	200 袋
カラーコーン	420 個
コーンベット	250 個
コーンバー	370 本
安全チョッキ	30 枚
立看板	40 枚
安全帯（リール式）	10 個
電工ドラム	10 基
ブルーシート	390 枚
住宅地図	5 冊
メジャー	20 個
親綱ロープ	10 個
デリニェータ	100 個
エンジンポンプ	3 基

ジョイント	20 個
バルーン式テラスター	3 台
ハイウォッシャー	5 基
携行缶	10 缶
アルミはしご兼用脚立	2 脚
高枝はさみ・のこぎり	15 本
仮設トイレ	30 基

※以下、島外避難者受入施設への支援物資

品名	調達数量
尿とりパット	6 パック
大人用オムツ	14 パック